
恋は先手必勝！

淡路ゆき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋は先手必勝！

【Nコード】

N6128Z

【作者名】

淡路ゆき

【あらすじ】

那岐^{なぎ}と斎^{とき}。幼馴染の二人の始まりの日。

風邪で高校を休んだら、どこから聞きつけたのか、幼馴染みの那岐^ぎがやってきた。受験生のくせに自覚あるのか、コイツ。

「薔薇なんかどうするの」

丁寧に包装された、真っ赤な薔薇を一本持つて、那岐はむつと頬を膨らませた。そうすることで、幼さが強調されることに、彼女は気付いているのだろうか。おさげを解いたら、もっと妖艶に見えるだろうに。

「お・み・ま・い・です！ 先輩の誕生日、六月じゃないですか」

半ばやけくその様に押し付けられ、重なった両手のひらが、熱く疼く。彼女に告白されてひと月が経った。僕は肯定とも否定ともつかない返事をし、今に至る。彼女なりの反抗なのか、いつもは下の名で呼ぶ僕のことを「先輩」と言い張る。見舞いに誕生日は関係ないだろうという僕の呟きは華麗にスルーされた。それも鮮やかな真紅。男が贈るといふのは解るのだけど。これは偏見なのか。

「那岐、ストーカーっていう言葉知ってる？」

「那岐はストーカーじゃありません！ 愛ある変態です」

（いや、それもどうかと思うけど）

堂々と開き直った彼女に、苦笑いしかできなくなる。

那岐と僕はひとつ違いだ。家が隣同士で両親も仲が良かった為、僕たちはよく一緒に過ごしていたし、中学まで登下校を共にしてい

たため、周りからは随分からかわれた。那岐は知らない。僕がどれだけ苦労して、悪い虫を追っ払っていたのか。

「那岐に彼氏ができないのは、先輩のせいなんです！ 責任とってください！」

「えーと、とりあえず、落ち着こうか」

「那岐は冷静です！」

僕が中学を卒業してから、那岐と一緒に帰ることはなくなった。ちよつとした日常の変化、だと思っていた。

朝、那岐がまだ寝ている時間に家を出ることも、帰宅する前、那岐の部屋の明かりを眺めて、ぼーっとすることも、寂しい、なんて感情、心の奥深くに押し込めて。

「先輩」

ほら、甘い誘惑。その声だけで、僕がどんなに救われるか、那岐は知らない。知らない方がいい。恋をすると欲深くなるなんて、迷信だと思っていた。那岐に、告白されるまでは。

「先輩、那岐は同じクラスの男の子に告白されました」

途端に嫉妬の渦。

（醜いな）

那岐のことになると、どうしても、平生じゃいられなくなる。冷静にならなきゃいけないのは僕の方だ。

「那岐、好きだよ」

ほら、最初から、素直に言ってしまえばよかったんだ。僕には那岐が必要で、那岐には僕が必要なんだから。

「那岐は僕のものなんだから。那岐もわかってるでしょ」

「那岐の好きな人は、今、目の前にいます！ 告白してくれたクラスメイトには、ごめんなさいしました。だ、か、ら」

薔薇の妖艶な匂い。

「花が当たって痛いんだけど」

僕は小さな抗議をする。那岐は僕のもの。那岐を守るのは僕の役目で、いつだって那岐の王子様でありたかった。付き合いたくなかったわけではない。出会いあれば別れあり。さよならが怖かった。那岐を、失うのが。僕の世界から那岐という存在が消えてしまうことを、僕はずっと恐れていた。

「もう、離しませんから！ 先輩が逃げても、那岐はずっと追いかけますからね」

覚悟して下さい。離せないのは僕の方だ。那岐を誰にも渡したくない。年貢の納め時が来たようだ。

「わかったよ」

にや？　なんて甘い声音が僕の耳を犯す。不意打ち。僕は那岐の肩に顔を埋めた。

「せ、先輩？」

慌てたような那岐の声。せいぜい狼狽えるがいい。

「言っておくけど、僕、独占欲強いから」

覚悟しなよ　両腕で、那岐の後頭部を抱え込む。

「一生、離さないから」

ぎこちなく僕の背中に伸ばされた、那岐の腕。

「望むところです！」

ほら、結局、彼女には敵わない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6128z/>

恋は先手必勝！

2011年12月20日16時47分発行